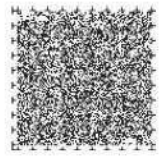




▼目の不自由な方
のための音声コード



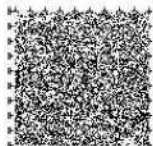
だい 6 かい ぜん 国 こく こう せい
 第6回 全国高校生
 しゅ わ 手話パフォーマンス甲子園 ころ し えん

実績報告書

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

Supported by  日本 THE NIPPON
 財団 FOUNDATION





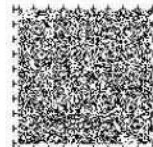
もくじ 目次

・ 開催概要	03
・ 大会スケジュール	04
・ 開会式	06
・ 出演者紹介	11
・ 表彰結果	12
・ 表彰内容	14
・ チーム演技	15
・ ゲストパフォーマンス／大会公式応援ソング	22
・ バリアフリー対策	23
・ 会場の催し	24
・ 閉会式	26
・ 交流会	28
・ 予選審査会	30
・ 広報	32
・ 本大会審査実施要領	34
・ 手話パフォーマンス甲子園実行委員会	35



記載されたQRコード
を読み取ると「手話パ
フォーマンス甲子園
☆動画チャンネル」で
動画を視聴するこ
とができます。





開催概要

● 目的

ろう者とろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を"手話の聖地"鳥取県で開催する。

● 日時

令和元年9月29日(日) 9:30~16:00

● 会場

とりぎん文化会館 梨花ホール
(鳥取県鳥取市尚徳町101番地5)

● 来場者

約2,000人

● 主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

● 共催

鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

● 特別協力

一般財団法人全日本ろうあ連盟

● 特別協賛

日本財団

● 出場チーム

15チーム(19校)

※令和元年5月20日(月)から7月5日(金)まで参加チームを募集したところ、25都道府県の57チーム(59校)から参加申込みがありました。8月1日(木)及び2日(金)に、審査員4名でビデオ視聴による予選審査会を開催し、各地方ブロック枠6チーム、得点順枠7チーム、合同チーム枠1チーム、及び初出場枠1チームの計15チームを選出しました。

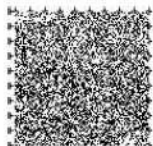
● 皇室の御臨席

佳子内親王殿下に御臨席をいただき、おことばを賜りました。





● 高校生による大会づくり

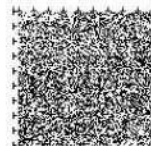
演技司会、運営ボランティア、大会PRなどに多くの地元高校生(約60名)が携わり、高校生による大会づくりが進展しました。



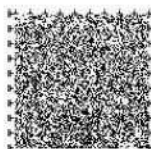


たい かい 大会スケジュール

時刻	内容	
9:30～	<p>開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニング映像 ・主催者あいさつ ・おことば ・特別協力団体あいさつ ・特別協賛団体あいさつ ・出場チーム紹介 ・優勝旗返還 ・選手宣誓 <p>審査員紹介 審査方法紹介 演技司会者紹介</p>	 
10:15～	<p>出場チームによるパフォーマンス(前半8チーム)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 米子西高等学校(鳥取県) 2 ノートルダム清心高等学校 広島南特別支援学校(広島県) 3 美唄聖華高等学校(北海道) 4 鳥取聾学校(鳥取県) 5 田園調布学園高等部(東京都) 6 済美高等学校 松山聾学校(愛媛県) 7 身延山高等学校 富士学苑高等学校(山梨県) 8 聖心学園中等教育学校(奈良県) <p>審査員講評</p> <p>※田園調布学園高等部は参加が困難となり欠場</p>	 
11:45～	休憩	



時刻	内容
13:10～	<p>出場チームによるパフォーマンス(後半7チーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> 9 埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園(埼玉県) 10 田鶴浜高等学校(石川県) 11 熊本聾学校(熊本県) 12 奈良県立ろう学校(奈良県) 13 真和志高等学校(沖縄県) 14 米子東高等学校(鳥取県) 15 大泉桜高等学校 立川ろう学校(東京都) <p>審査員講評</p> 
14:35～	<p>ゲストパフォーマンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元高校生による郷土芸能「しゃんしゃん傘踊り」 ・「劇団あしたの会」による演劇
15:08～	<p>休憩</p>
15:23～	<p>審査発表／表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県聴覚障害者協会賞 ・日本財団賞 ・全日本ろうあ連盟賞 ・審査員特別賞 ・第3位 ・準優勝 ・優勝 ・手話パフォーマンス奨励賞 <p>審査員長講評 閉会あいさつ エンディング</p>  
16:00	<p>閉会</p>



かい かい しき 開会式

しゅ さい しゃ

主催者あいさつ

手話パフォーマンス甲子園実行委員会 会長

ひら い しん じ
鳥取県知事 **平井 伸治**

皆さん、おはようございます。

本日、ここに佳子内親王殿下をお迎え申し上げまして、全国各地の皆様のお越しをいただき、全国高校生手話パフォーマンス甲子園を開催することができましたこと、私ども、鳥取県民にとりまして、無上の喜びでございます。本当にありがとうございました。

皆様は、厳しい予選を勝ち抜きまして、そして、今日、いらっしゃったわけでございます。

田園調布学園も急に出場ができなくなりました。また、予選を超えられなかった仲間もいらっしゃいます。そういう仲間達のためにも、その思いも込めて、素晴らしいパフォーマンスをしていただきますようお願い申し上げます。

本日は、全日本ろうあ連盟石野理事長、日本財団前田専務理事、あるいは、数多くの皆様のご協力をいただきました。感謝申し上げます。敷田議員をはじめ、神奈川県議会の皆様にもお越しをいただきました。ありがとうございます。

さて、昨日はラグビーのワールドカップがあり、そして桜ジャパンが歴史的な勝利を遂げました。「One for all, All for one」ラグビーの心で、皆さんも、頑張っていたいただければと思います。

「春の野にしろつめ草を摘みながら友と作りし花の冠」佳子内親王殿下の御歌でございます。素晴らしい友人と一緒に、素敵な冠を、今日作っていただいたと思います。手話の架け橋を全国に架ける、それが今日の舞台であります。



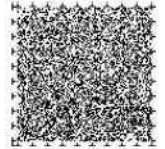
また、昨日も召し上がったと思いますが、美味しい食べ物もございますし、また鳥取砂丘でありますとか、あるいは、コナンでありますとか鬼太郎でありますとか、更には、昨日、モンスターハンターの砂像が鳥取駅の広場に作られました。いろいろな鳥取を見つけてもらいたいと思います。

あのTT兄弟もやってましたよね。トッ、トッ、トットトリ、トッ、トッ、トットトリ。皆さん、優勝目指して頑張ってください。

佳子内親王殿下のいやさか、そして、皆様のお幸せをお祈り申し上げます。

皆様、最高です。T!

ありがとうございました。



か こ ないしんのうでん か

佳子内親王殿下おことば

本日、「第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が手話にゆかりの深い、ここ鳥取県で開催され、皆様にお会いできましたことを大変うれしく思います。

鳥取県では、平成25年に、全国で初めての手話言語条例が制定されました。手話の普及に向けた様々な取り組みも行われています。他の多くの地域でも、このような動きが広がってきていると伺っております。関係者の皆様のご尽力に、深く敬意を表します。

私は、この大会に出席するたびに、高校生の熱意あふれる舞台に、深い感銘を受けてきました。一つの大会で、様々な分野のパフォーマンスを鑑賞できることも、魅力的であると思います。

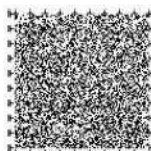
今年も、全国から多くの応募があり、その中から、15チームが予選を通過しました。

出場される皆様は、様々な工夫をしながら、練習に励んでこられたことでしょう。それぞれのパフォーマンスを作り上げるためには、楽しいことも、大変なこともあったかと思います。目標に向かって励んだ経験は、大切な宝物になったのではないのでしょうか。

このあとの手話パフォーマンスで、これまで積み重ねてこられた努力の成果が、十分に発揮されることを期待しております。皆様の舞台を鑑賞することを、とても楽しみにしております。

最後に、この大会を通して、聴覚に障がいのある方々と、大切な言語である手話に対する理解が、より一層深まるとともに、この大会が皆様にとって素晴らしい思い出となることを願い、私の挨拶といたします。





かい かい しき 開会式

とく べつきょうりょく だん たい

特別協力団体あいさつ

一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事長

いし の ふ じ さぶ ろう
石野 富志三郎

皆さん、おはようございます。

本日、佳子内親王殿下のご臨席を賜り、たいへんうれしく思います。

さて、第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園が、ここ、鳥取県で盛大に開催されますことを、大変うれしく思います。

今日お集まりの皆様におかれましては、厳しい予選を勝ち抜き、今日まで、地道な練習を積み重ねてこられたことと思います。その努力に敬意を表したいと思います。

今春、千葉県で開催された、春季千葉県高等学校軟式野球大会に、千葉県立千葉ろう学校が出場し、初戦を突破しました。この大会で初めて、障がいのない相手との試合に勝つという経験をしたそうです。その時、このチームのキャプテンは、「聞こえないから仕方がないという考えではなく、どうしたら勝てるのかを考え、練習に打ち込んできた。自分たちの力で初めて勝つことができうれしかった」と語っています。

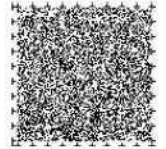
かつて、福井県の高等学校軟式野球大会では、ろう学校のチームが優勝したにも関わらず、日本学生野球憲章を理由に、次のステップである北陸大会への出場を停止されたという信じがたい問題が起きました。これに対して、当連盟や各地域のろうあ団体が、差別の撤廃を要請しました。高校野球連盟から、出場停止の処遇に対する陳謝があり、福井ろう学校野球部の大会出場が認められました。今から45年前の出来事です。



聞こえる、聞こえないに関わらず、誰もが平等にスポーツ等に打ち込めること、1つの目標に向かって努力し続けることへの大切さを学べることは、非常に大切なことです。

この大会に出場される皆様も、今日まで、目標に向かって努力や経験を1つ1つ重ねてこられたことと思います。今日はその成果をステージの上で存分に発揮し、未来への糧としていただきたいと思います。皆様の活気あふれるステージを楽しみにしています。

最後になりましたが、本大会の開催に際し、ご尽力いただきました、鳥取県をはじめ、実行委員会、関係者の皆様にお礼を申し上げ、私の挨拶といたします。



とく べつきょうさん だん たい

特別協賛団体あいさつ

日本財団 専務理事

まえ だ あきら
前田 晃

皆さんおはようございます。ただいまご紹介を賜りました、日本財団の前田晃と申します。

秋篠宮佳子内親王殿下の御臨席の榮譽を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

本日、ここに予選を勝ち抜いて全国大会出場を果たされた皆様、心からお祝いを申し上げます。

さて、今回の大会は、25都道府県から合計59校57チームの参加があり、うち18校が初参加、その中から6校が予選を突破されたと伺いました。

ろう学校とその他の学校合同の3チームが予選を突破されており、これから、聞こえる、聞こえないの垣根を越えて、一つのパフォーマンスに挑む高校生たちが増えることを期待しています。

日本財団といたしましても、この大会が全国へ徐々に広まっていることをうれしく思っているところでございます。今後は全ての都道府県からの参加が実現することを強く願っております。

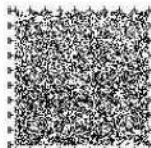
日本財団は、この大会のみならず、聴覚に障がいのある方々に対する情報保障の向上のため、電話リレーサービスのモデル事業を6年間に渡り、全国規模で取り組んでまいりました。その甲斐あって、2021年度には、総務省が担当官庁となり、政府による電話リレーサービスの提供が開始されることとなりました。

アメリカ、ヨーロッパ、韓国など情報保障における先進国と比べ、我が国はまだ遅れているのが実情でございます。このため、本大会が高校野球の甲子園のように手話を学ぶ高校生が出場することを誇りに



思える大会になること、また、高校生の手話パフォーマンスを通して、多くの人に手話を身近なものとして理解されるようになること、皆さんのように若い世代の人たちから発信することで、聴覚に障がいのある人とともに生活できる社会を築くこと、それらを目指して支援させていただいております。

本日、予選を勝ち抜いて、この大会の舞台に立つ各チームのみなさんは、日頃身につけた手話により、最高のパフォーマンスを発揮されることを心より願っております。皆さん、大いに頑張ってください。



かい かい しき 開会式

ゆうしょう き へん かん

優勝旗返還

真和志高等学校(沖縄県)

にし え たつき
西江 樹

昨年の第5回大会 優勝チーム 真和志高等学校の西江 樹さんから、平井 伸治鳥取県知事へ優勝旗が返還されました。平井知事からは、代わりに優勝盾が西江さんに贈られました。



昨年の第5回大会の表彰式の様子

せんしゅ せんせい

選手宣誓

米子西高等学校(鳥取県)

ひろ やま ま な
廣山 真奈

宣誓

私たちは今、第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の舞台に立てることを幸せに感じています。

令和元年。これから私たちが歩いていく世界はどんな世界を目指すのでしょうか。

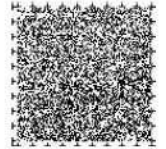
共に生き、共に支える共生社会の実現のため、今、私たちにできる一歩として、「手話も言語である」という思いのもと、全国から集まった仲間たちの思いをつなぎ、『手話言語条例』の精神を日本全国へ、そして世界へ広げていきます。

新しい時代を創造していく世代として、全ての人が暮らしやすい、笑顔溢れる世界となるよう思いを込めて、ここに精一杯パフォーマンスすることを誓います。

令和元年9月29日

選手代表 鳥取県立米子西高等学校 廣山 真奈





出演者紹介

演技司会者



はやせ けんたろう
早瀬 憲太郎さん

ろう児対象の国語専門学習塾「早瀬道場」塾長。映画監督。元NHKみんなの手話講師。デフリンピックサムスン2017自転車競技日本代表。



かわぐち まりな
河口 真里奈さん

鳥取敬愛高等学校3年。応援サポーターとして、第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に携わった。

総合司会者



はらだ ひろかず
原田 裕和さん

NHK鳥取放送局チーフアナウンサー。

審査員



ろう者

しょうざき たかし
庄崎 隆志さん

演出家・俳優
審査員長



ろう者

こなか えいいち
小中 栄一さん

全日本ろうあ連盟
副理事長



ろう者

ひろかわ あさこ
廣川 麻子さん

NPO法人
TA-net理事長



聞こえる人

かど ひでひこ
門 秀彦さん

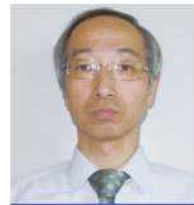
絵かき



聞こえる人

のがみ まりさん
野上 まりさん

福岡ろう劇団博多



聞こえる人

しおの や ひとし
塩野谷 斉さん

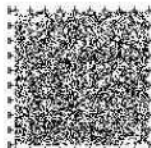
鳥取大学
地域学部教授

ゲストパフォーマー

げきだん
劇団あしたの会

劇団あしたの会は1996年、三・三声明をテーマにした「あしたを拓く」で旗揚げ。以来、京都を拠点に、ろう者と聴者が共に楽しめる演劇づくりに取り組んでいる。





ひょう しょう けっ か 表彰結果

ゆうしょう

優勝

真和志高等学校(沖縄県)

- 演技タイトル / 「ラップ THE オキナワ」
- 演技内容 / ダンス・演劇
- 審査得点 / 273点
- 演技順 / 13



じゅんゆうしょう

準優勝

奈良県立ろう学校(奈良県)

- 演技タイトル / 「ユールネバーウォークアローン」
- 演技内容 / 演劇
- 審査得点 / 266点
- 演技順 / 12



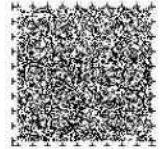
だい い

第3位

埼玉県立特別支援学校 坂戸ろう学園(埼玉県)

- 演技タイトル / 「手話は命
～ろう者の星と聴者の星～」
- 演技内容 / 演劇・ポエム・コント
- 審査得点 / 264点
- 演技順 / 9





しん さ いん とくべつしょう

審査員特別賞

田鶴浜高等学校(石川県)

- 演技タイトル / 「全てを笑顔で守りたい」
- 演技内容 / 歌唱・演劇
- 演技順 / 10



ぜん にほん れんめいしょう

全日本ろうあ連盟賞

聖心学園中等教育学校(奈良県)

- 演技タイトル / 「This Is Me ～すべての人へ～」
- 演技内容 / ダンス
- 演技順 / 8



にっぽんざい だんしょう

日本財団賞

米子東高等学校(鳥取県)

- 演技タイトル / 「結び ～HANDSIGN～」
- 演技内容 / ダンス・演劇
- 演技順 / 14



とつ とり けんちょうかくしょうがい しゃきょうかいしょう

鳥取県聴覚障害者協会賞

熊本聾学校(熊本県)

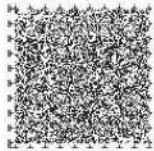
- 演技タイトル / 「レッツスポーツ 世界は一つ!」
- 演技内容 / 演劇
- 演技順 / 11



しゅ わ しょうれいしょう

手話パフォーマンス奨励賞

前記以外の本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与しました。



表彰内容

しょうじょう 賞状



優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連
盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話
パフォーマンス奨励賞

ゆうしょう き 優勝旗



たて 盾



優勝



準優勝

メダル

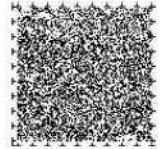


優勝、準優勝、第3位の選手全員に授与(素材は鳥
取砂丘の砂)

ふくしょう 副賞



全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞にも、それぞれ受賞チーム
へ副賞が贈られました。



チーム演技

01 米子西高等学校 (鳥取県)

初出場

■演技タイトル／

「福笑い～私たちの共通言語は「笑顔」そして「手話」～」

■演技内容／ダンス・書道パフォーマンス ■メンバー人数／16人

▼動画はこちら



02 ノートルダム清心高等学校・広島南特別支援学校 (広島県) 3回目・2回目

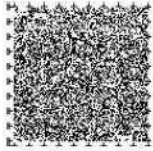
■演技タイトル／

「僕らの光で輝く」

■演技内容／歌唱 ■メンバー人数／8人

▼動画はこちら





チーム演技

03 美唄聖華高等学校(北海道)

初出場

演技タイトル／
「実習前の帰り道 ～夢の種を歌に乗せて～」

演技内容／歌唱 ■メンバー人数／11人

▼動画はこちら



04 鳥取聾学校(鳥取県)

4回目

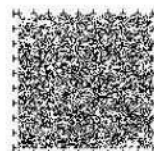
演技タイトル／
「一期一会 ～あれから6年～」

演技内容／演劇 ■メンバー人数／4人

▼動画はこちら



※05 田園調布学園高等部(東京都)は参加が困難となり欠場



さい び こう とう がっ こう まつ やま ろう がっ こう
06 済美高等学校・松山聾学校(愛媛県)

2回目・初出場

■演技タイトル/
「つなぐ」

■演技内容/歌唱・ダンス・演劇 ■メンバー人数/16人

▼動画はこちら



み のぶ さん こう とう がっ こう ふ じ がく えん こう とう がっ こう
07 身延山高等学校・富士学苑高等学校(山梨県)

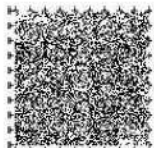
3回目・初出場

■演技タイトル/
「大好きなおばあちゃんへ」

■演技内容/歌唱・ダンス・演劇 ■メンバー人数/9人

▼動画はこちら





チーム演技

08 聖心学園中等教育学校(奈良県)

4回目

■演技タイトル／

「This Is Me ～すべての人へ～」

■演技内容／ダンス ■メンバー人数／5人

▼動画はこちら



09 埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園(埼玉県)

初出場

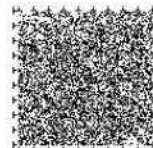
■演技タイトル／

「手話は命～ろう者の星と聴者の星～」

■演技内容／演劇・ポエム・コント ■メンバー人数／5人

▼動画はこちら





10 た つる はま こう とう がっ こう
田鶴浜高等学校(石川県)

6回目

■演技タイトル／

「全てを笑顔で守りたい」

■演技内容／歌唱・演劇 ■メンバー人数／9人

▼動画はこちら



11 くま もと ろう がっ こう
熊本聾学校(熊本県)

5回目

■演技タイトル／

「レッツスポーツ 世界は一つ!」

■演技内容／演劇 ■メンバー人数／6人

▼動画はこちら

